

2 高農基 第 70 号
令和 2 年 4 月 9 日

農業振興部各出先機関長 様
農業振興部各課長 様

農業振興部長
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた建設工事等の対応
について (依頼)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に伴う工期の見直しや請負代金額の変更、
施工の継続が困難な場合の一時中止の対応等については、「新型コロナウイルス感染症の感
染拡大防止に向けた建設工事等の今後の対応について」(令和 2 年 3 月 23 日付け元高農基
第 1560 号) 等により、随時適切な対応をお願いしてきたところですが、令和 2 年 4 月 7 日
に内閣総理大臣より新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言がされた
ことを踏まえ、今後の建設工事等(調査、設計及び測量等の業務を含む。)の取扱いを定め
ましたので、下記により適切な対応をお願いします。

記

1. 施工中の建設工事等における新型コロナウイルス感染症に係る一時中止措置等の対応 について

県外のコンサルタントが受注した業務や県外での工場製作等を含む建設工事など、緊
急事態措置を実施すべき区域(以下「対象地域」という。)において従事者が勤務する建
設工事等については、対象地域に係る都道府県知事からの要請を踏まえ、受注者からの
申出があった場合には、受発注者間で協議を行った上で、工期の見直しやこれに伴い必
要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行うようお願いします。

また、従事者の勤務地が対象地域外である建設工事等についても、新型コロナウイルス
感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない
場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続する
ことが困難となった場合のほか、受注者から一時中止等の申出があった場合においては、
一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、
必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の
変更、一時中止の対応等、適切な措置を行うようお願いします。

なお、これらの場合においては、特段の事情がない限り、受注者の責によらない事由

によるものとして取扱うこととしてください。

また、以上の措置を講じるに当たっては、令和2年4月7日に改正された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」において、緊急事態宣言時に事業の継続が求められるものに、安全安心に必要な社会基盤として公共工事が挙げられており、食料の安定供給に不可欠な工事等や災害復旧等の県民の生命・財産の保護のために緊急かつ必要な工事等については、極力継続する前提で協議を行い、受注者から一時中止等の希望がある場合には、事情を十分に聴取した上で一時中止措置等を行うとともに、必要な対応を行うこととしてください。

2. 施工中の建設工事等における新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等について

施工中の建設工事等における新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下を踏まえ、適切な対応を行っていただくようお願いします。

- (1) 公共工事の円滑な施工確保を図る観点からも、施工中の工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、担当職員のみならず、受注者を通じてすべての作業従事者等の健康管理に留意してください。
- (2) 施工中の工事等について、新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者がいることが判明した場合はもとより、速やかに受注者から発注者に報告するなど、所要の連絡体制の構築を図るとともに、保健所等の指導に従い、感染者本人や濃厚接触者の自宅待機をはじめ、適切な措置が講じられるようお願いします。
- (3) 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いと考えられています。また、これ以外の場であっても、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すこと等にはリスクが存在すると考えられています。

建設工事の現場では、対象地域の内外を問わず、多人数での作業や打合せをはじめ、三つの密が生じかねない場面も想定されることから、元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者等、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動がなされることが重要です。

特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期す必要があります。

これらを踏まえ、施工に伴う三つの密の発生が極力回避されるとともに、やむを得ず必要な場合においてもその影響緩和のための対策が徹底されるよう、受注者に対して周知徹底を図るなど、適切な対応をお願いいたします。

事務連絡
令和2年4月8日

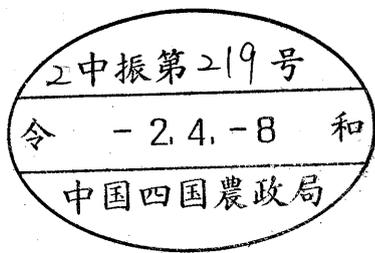
管内各県農林水産部（局）長 殿

中国四国農政局農村振興部長

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた農林水産省直轄
工事及び業務の今後の対応について

このことについて、令和2年4月8日付け事務連絡により、別添写しのとおり農村
振興局整備部設計長から通知があったので、執行の参考として送付します。

なお、貴管下市町村に対しては、貴職から周知されたい。



事務連絡
令和2年4月8日

中国四国農政局農村振興部長 殿

農村振興局整備部設計課長

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた農林水産省
直轄工事及び業務の今後の対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関し、令和2年4月7日、内閣総理大臣より緊急事態宣言が発令され、同日改正された、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針において、緊急事態宣言時に事業の継続が求められるものとして公共工事等が挙げられた。

これを踏まえ、「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた農林水産省直轄工事及び業務の今後の対応について」（令和2年4月8日付け2予第71号大臣官房参事官（経理）通知）が発出されたところであり、当該通知の内容に基づき、適切に対応されたい。

また、このことについて、貴職から貴局管内の県に対し、参考送付するとともに、その際、関係市町村等へも通知されるよう依頼されたい。

【担当】

農村振興局整備部設計課施工企画調整室
施工基準班 國分・渡辺
電話番号 03-3502-6094（内線 5513）



○新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた農林水産省
直轄工事及び業務の対応について

令和2年4月8日 2予第71号

大臣官房参事官（経理）から大臣官房統計部長、消費・安全局長、食料産業局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、農林水産技術会議事務局長、林野庁長官、水産庁長官、農林水産研修所長、農林水産政策研究所長、各地方農政局長、北海道農政事務所長 あて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について、令和2年4月7日に内閣総理大臣から緊急事態宣言が発出された。また、同日改正された、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針において、緊急事態宣言時に事業の継続が求められるものに安全安心に必要な社会基盤として、公共工事が挙げられている。これらを踏まえ、今後の工事及び業務について、下記のとおり取扱いを定めたので、遺漏なきよう措置されたい。

記

1. 受発注者による協議と受注者の希望に応じた一時中止措置等（対象地域内）

緊急事態措置を実施すべき区域（以下「対象地域」といい、今後、追加される区域を含む。）における工事又は測量・調査・設計等の業務（以下「工事等」という。）については、対象地域に係る都道府県知事からの要請を踏まえつつ、今後の対応について受発注者による協議を行う。

この協議の結果、受注者から工事等の一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の希望がある場合には、受注者の責めに帰すことができないものとして、契約書に基づき工事等の一時中止や設計図書等の変更（以下「一時中止措置等」という。）を行う。なお、一時中止措置等を行った場合においては、契約書の規定に基づき、必要に応じて請負代金額若しくは業務委託料の変更又は工期若しくは履行期間の延長を行うなど、適切に対応する。一時中止の期間は、対象地域における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、適切に設定する。

また、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針において、緊急事態宣言時に事業の継続が求められるものに安全安心に必要な社会基盤として、公共工事が挙げられており、国民への食料の安定供給に不可欠な工事等や災害復旧等の国民の生命・財産の保護のために緊急かつ必要な工事等については、極力継続する前提で協議を行い、受注者から一時中止等の希望がある場合には、事情を十分に聴取した上で一時中止措置等を行うとともに、必要な対応を行うこととする。

なお、対象地域外における工事等であっても、工事等の従事者の多くが対象地域から通勤している場合には、上記に準じて対応するものとする。

2. 受注者の希望に応じた一時中止措置等（対象地域外）

対象地域外における工事等について、受注者から一時中止等の希望の申出がある場合には、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況（テレワークや時差出勤の状況等）、従業員の状況（従業員の健康状態、臨時休校に伴う育児の必要性等）、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、1. に準じた措置を行う。

3. 工事等の継続又は再開に当たっての感染拡大防止対策の徹底（共通）

対象地域の内外や緊急事態宣言の前後を問わず、工事等を継続又は再開する場合には、受注者における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の実施状況を発注者が適宜確認するなど、受発注者双方において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策が適切に実施されるよう取り組むこととする。

この際、密閉・密集・密接の三つの密を防ぐほか、測量・調査・設計等の業務においては極力テレワーク等を実施する。